令和8年　町民が選ぶ町の10大ニュース





選　考　資　料

※ここに列挙しているものは、広報しずくいしなどから拾い上げた町の出来事の一部です。「記入用紙」に、あなたが選ぶ10の候補の***応募番号をご記入ください***。掲載事項以外でも、10大ニュースにふさわしい出来事がありましたならご自由にお書きください。

月	日	内容	応募番号
12	5	地域の伝統文化への理解と故郷への愛着を育むことを目的に、雫石中学校で餅つき体験が行われ、3年生らが日本の伝統行事に触れる。	⑫-1
	14	NHK番組「いわてみんなのうた」の撮影が御明神保育所で行われ、園児らが元気いっぱいに「たらりら」を踊る。	⑫-2
	22	西山保育園でフラワーアレンジメント教室が開催。3～5歳の園児らと保護者の56人がクリスマスツリー作りに取り組む。	⑫-3

月	日	内容	応募番号
1	9・11	令和8年雫石町交通指導隊初点検式・消防出初式を実施。安全・安心のまちづくりへ誓いを新たにした。	①-1
	11	令和8年二十歳のつどいが開催され、98人が出席。新たな一歩を踏み出す。	①-2
	16	雫石サーモンブランド化協議会（瀧澤清会長）が町ふるさと文化振興基金助成事業を活用して開発した新商品（小銀鮭のかんろ煮～秘伝のタレ仕込み～）の試食会が行われる。	①-3
	18	復活第46回雫石裸参りが厳寒の中開催。参加した祈願者24人は、雫石町発展、疫病収束などを願いながら、上町の三社座神社から下町の永昌寺まで約1.2キロメートルの道のりを威風堂々と練り歩いた。	①-4
	24	雫石高校（菊池由美子校長、生徒数85人）で、同校伝統の雪上運動会が開催。各学年チームのほか、震災復興学習などを通じて交流を続けている山田高校の1年生18人や職員・PTAチームも参加し、白銀のグラウンドで熱戦を展開した。	①-5
	31～2/23	冬ならではの遊びや雪を楽しむ「第4回雫石・冬フェスタin 小岩井農場」（主催：雫石町、企画・運営：小岩井農場）が開催。恒例のキャラクターショーや親子そりレース大会、雪中宝探しなどを様々なイベントが行われた。24日間の総来場者数約2万3千人が雫石の冬を楽しんだ。	①-6

月	日	内容	応募番号
2	6	統計調査員の田中秀雄さん（長根）が、精度の高い調査を評価され「2025年農林業センサス」で特に顕著な功績を納めた人に贈られる農林水産大臣賞を受章。	②-1
	7	「しずくいし雪灯りFINAL」（主催：しずくいし雪灯り実行委員会）が開催。最後の開催ということで、惜しまれつつも、雪灯りと参加者たちの明るさに包まれたイベントとなった。	②-2
	8	「第51回衆議院議員総選挙」「第27回最高裁判所裁判官国民審査」投開票が行われる。町内の投票率は55.27%。	②-3
	7～8	トヨタ自動車が開催するラリー競技のプレイベントが開催。全国から30組が参加し、小岩井農場に設けられた雪上コースを駆け抜ける。	②-4
	9	「みんながつくる 未来につなぐ ふるさとしずくいし」の実現にむけ、移住者の視点から意見や提案、要望などを聞き、今後の取り組みの参考とするために令和7年度町政懇談会を開催。	②-5
	20	認知症にやさしいまちづくりの一環として、認知症のある方やご家族をやさしく見守る「雫石町チームオレンジ」の取り組みが始まる。	②-6
	22	雫石駅冬まつり2026が開催。eスポーツ大会や駅ナカ縁日、ワークショップなどで雫石駅が遊び場に変わる。	②-6
	22～23	第21回全国ダンスコンペティションin仙台2026において、雫石ダンススタジオ所属の高橋菜々花さん（雫石小6年）岩渕莉心さん（見前小6年）のデュエットが最優秀賞を受賞。	②-7

月	日	内容	応募番号
3	1～19	町内の小中学校、高校で卒業式を挙行。小学校99人（5校）、中学校122人、雫石高校20人が母校での教えと思い出を胸に、それぞれの未来に向かって羽ばたく。	③-1
	7～15	町観光物産センターで春のしずくいし工房まつりが開催。町内18工房の作品が一堂に会し、展示販売される。	③-2
	16	町選挙管理委員会委員として長年にわたり尽力された米澤ヨシ子さん（赤滝）に対し、総務大臣から表彰状が贈呈される。	③-3
	23	道の駅雫石あねっこに町の魅力を伝える案内板が新設される。案内板は御明神小学校の児童が新生雫石町70周年を記念して制作したもの。	③-4
	24	町と雫石商工会（髙橋憲功会長）と㈱タイミー（小川嶺代表取締役）との三者による岩手県内初となる、包括連携協定を締結。同社のスキマバイトサービス「タイミー」の活用により、労働力不足の解消や多様な働き方の推進を通じた町内の経済活性化を図る。	③-5
	27	道の駅雫石あねっこに、大手アウトドア用品メーカー㈱モンベルの販売コーナーがオープン。	③-6

月	日	内容	応募番号
4	6	今年で51周年を迎える雫石郷土芸能伝承活動細川会（細川智子代表）が、「細川会創立51周年・第43回チャリティー発表会」の収益金の一部を、町を通して町社会福祉協議会へ寄付。同発表会の寄付は初回から続けられ、今回で43回目を数える。	④-1
	7・8	町内の小中高校で入学式が行われ、小学校75人（5校）、中学校98人、雫石高校24人の新入生が新しい日々への期待を胸に学校生活をスタートさせる。	④-2
	8	雫石町鳥獣被害対策実施隊として新たに3人を任命。同隊員は今回任命された3人を加え、総勢51人（男性43人、女性8人）となり、有害鳥獣の捕獲や鳥獣被害防止対策の指導、普及活動に取り組む。	④-3
	17	道の駅雫石あねっこに、㈱ポケモンから寄贈されたポケモンマンホール「ポケふた」が設置。	④-4
	21	消防庁が主催する「優良少年消防クラブ・指導者表彰」で、町内の黒沢川地区少年消防クラブが優良な少年消防クラブとして消防庁長官賞を受賞。	④-5
	25	東北紙器㈱（鳥越範夫代表取締役社長）ならびに盛岡セイコー工業㈱（滝澤勝由代表取締役社長）より、防災ぬぐい（クマ対策編）が町内の小学校へ寄贈され、すべての児童へ配布。	④-6
	25～26	ふるさと文化振興基金助成事業として、雫石銀河ステーションと雫石川園地を会場に㈱航和が「雫石銀河ステーション春まつり」を開催。	④-7
	26	竜川の水と緑を守る会（春木場武美代表）が竜川河川敷に鯉のぼりを掲揚。以前雫石川で掲揚されていた鯉のぼりを同団体が町から借り受けて行っているもの。	④-8
	26	盛岡中津川ライオンズクラブが雫石川園地の清掃を実施。多くの人で賑わう花見スポットの美化に取り組んだ。	④-9

月	日	内容	応募番号
5	3	「元祖！しずくいし軽トラ市」（主催：しずくいし軽トラ市実行委員会）が開幕し、約6,400 人が来場。新鮮な野菜や山菜、手作りグルメ、クラフト雑貨などの買い物を楽しむ。	⑤-1
	9	西山地区のサクラソウ群生地である銀河の森で、第10回「銀河の森」野生サクラソウ観察会（雫石「銀河の森」野生サクラソウの会主催）が行われる。	⑤-2
	10	雫石町総合運動公園および町内特設コースを会場に「第42回岩手山ろくファミリーマラソン」が開催。最遠方は香川県、最高齢は86歳と、全国各地から幅広い年代のランナー1,137人が参加し、春の田園風景などを楽しみながら完走を目指した。	⑤-3
	13	雫石大火警鐘不忘（けいしょうふぼう）の会（大村利夫会長）が雫石大火発生の日である5月13日に下町の臨済寺境内南側に建つ祈念碑周辺を清掃し、防火への思いを新たにした。	⑤-4

月	日	内容	応募番号
6	1	秋田駒ヶ岳（1,637メートル）の山開きが行われ、秋田県仙北市と合同で記念登山を実施。山頂でピッケルを交換し、登頂の喜びを分かち合う。	⑥-1
	15	チャグチャグ馬コが西山保育園を訪問。園児たちが馬コとのふれあいを楽しんだ。	⑥-2
	20	第46回在京雫石町友会総会・交流会が東京・日暮里で開催。交流会は町友会会員のほか町長、町議会議員など約６０人が出席。よしゃれや岩手の唄や踊りが披露され、会場を熱気に包んだ。	⑥-3
	21	狩猟に関する理解を深める「2026年度第1回未来のハンター育成研修会」が開催。町内から5人が参加。	⑥-4
	21	「第2回いわて雫石トライアスロン大会」が県営屋内温水プールを主会場に開催。悪天候の中、約80人の選手が参加し、力強くゴールを目指した。	⑥-5
	26	岩手日報雫石センターおよび同小岩井センターと「地域における見守りに関する協定」を締結。地域の見守りを強化と地域福祉の向上を図る。	⑥-6
	26	第19回滝沢・雫石連合畜産共進会が全農岩手県本部中央家畜市場で開催。澤目継秋さん（片子沢）らが名誉賞に輝く。	⑥-7
	29	御明神小学校（菊池昌典校長、児童数58人）の1・2年生15人が、雫石商工会女性部（櫻糀節子部長）とともに、「七夕」の短冊の飾り付けを行う。制作された七夕飾りはよしゃれ通り商店街に飾られ、商店街を華やかに彩る。	⑥-8

月	日	内容	応募番号
7	1	雫石町・滝沢市・八幡平市主催による岩手山（2,038 メートル・日本百名山）の山開きが行われ、御神坂登山口で神事を行ない今年一年の山の安全を祈願した後に、3年ぶりとなる記念登山を実施し、恒例のピッケル交換や万歳三唱を行い、登頂の喜びを分かち合った。	⑦-1
	1	町保護司協議会南野久晃会長らが「社会を明るくする運動」推進のため来庁し、町長へ総理大臣からのメッセージを伝達。	⑦-2
	1	東北紙器㈱（結城剛之代表取締役社長）が「段ボール製さんさ太鼓」を作成。「天瀬さんさ伝承会」の子どもたちによる体験会が行われた。	⑦-3
	3	御明神地区上野に建設されていた東日本原種豚場の新豚舎が竣工し、式典が行われる。同所は品種改良や東北地方から九州地方までの地域への種豚供給を担う。	⑦-4
	4	第3回「元祖！しずくいし軽トラゆう市」（主催：しずくいし軽トラ市実行委員会）がよしゃれ通り商店街を会場に15時～19時で開催。約3,700人の来場者でにぎわいを見せた。	⑦-5
	5	「雫石町消防フェスティバル」が開催され、町内外からおよそ2500人が来場。地域の消防活動の大切さや消防団の日頃の訓練成果を、子どもたちをはじめ多くの町民に知ってもらいたいという思いから、昨年に引き続き2回目の開催となった。	⑦-6
	16	御所小学校（髙橋雄賢校長、児童数74 人）で、ANAグループによるキャリア教育プログラム「ミライつく～る」が開催。現役のパイロットやキャビンアテンダント、整備士らが講師を務め、児童らは職種に分かれてワークや仕事体験を行った。	⑦-7
	25～26	東京藝術大学器楽科の学生ら有志約30人が合宿のため来町。25日に小岩井農場まきば園でのミニコンサート、26日に野菊ホールでメインコンサートを実施。メインコンサートでは、雫石中学校吹奏楽部・しずくいし混声合唱団とのコラボ演奏が披露され、吹奏楽と合唱の美しいハーモニーが響き渡った。	⑦-8
	26	天皇杯・皇后杯JVA 全日本バレーボール選手権大会岩手県ラウンドで、滴石クラブが初優勝を果たす。	⑦-9
	28～31	富士市・雫石町少年交流事業が行われ、富士市の児童30人が雫石町を訪問し、町の児童30人と3泊4日で交流を深めた。	⑦-10
	30	全日空機と自衛隊機の空中衝突事故から55年目の献花・拝礼が行われた。遺族や関係者のほか富士市と町内の児童も参加し、犠牲者162人の冥福と空の安全を祈った。	⑦-11

月	日	内容	応募番号
8	6	子育ち子ども食堂が御所公民館で開催され、小学生の児童・保護者ら21人が参加。岩手県食の匠を講師に雫石の郷土料理に親しむ。	⑧-1
	7	鶯宿温泉内で旅館のリニューアルをはじめ地方創生に協力している、SMFLみらいパートナーズ㈱より企業版ふるさと納税制度を通じた寄付を頂く。	⑧-2
	9	ベアレン雫石工場でホップ収穫感謝祭が開催。来場者が雫石工場で作られたビールや工場見学を楽しむ。	⑧-3
	11	台風15号が上陸し、暴風警報が発令。安全を確保するため、「第56回雫石よしゃれ祭」が中止となる。	⑧-4
	16	「第48回御明神夏まつり」が開催。今年度はクラウドファンディングにより資金調達を行い、目標金額を達成し開催された。花火が盛大に打上げられ、会場からは花火が上がるたびに大きな拍手と感動の声が上がり、御明神地区の夏の終わりを彩った。	⑧-5
	24	NPO法人しずくいしの髙橋憲功理事長らがチャリティーショーの収益金の一部を、町を通して町社会福祉協議会へ寄付。	⑧-6
	28	雫石町戦没者追悼式が中央公民館で開催。式には遺族や関係者ら80人が参列した。	⑧-7
	29	BikeJIN祭り2026@岩手・雫石が開催。休暇村岩手網張温泉に各地からたくさんのライダーが集結。	⑧-8
	30	北上川上流合同水防演習が旧上長山小学校を会場に開催。本町のほか、矢巾町、紫波町、岩手町、滝沢市、盛岡市の水防団員150人が参加し、水防技術を学ぶ。	⑧-9

月	日	内容	応募番号
9	3	西山小学校の児童（3年生17人）がクマ出没マップを町鳥獣被害対策実施隊講師のもと作成。クマの生態について学ぶ。	⑨-1
	9	青森国民スポーツ大会で、エムズスポーツクラブ雫石教室所属のトランポリン選手である井関駿太選手が初出場で7位入賞を収める。	⑨-2
	17	上和野馬頭観世音堂で国登録有形文化財登録から10周年を記念し、記念植樹祭を開催。二戸市の八葉山天台寺より株分けされたアジサイを植樹。	⑨-3
	21	「雫石町長杯第2回アーチェリー大会」をいわて雫石アーチェリーセンターで開催。総勢46人が出場し、競技を通じて交流を深める。	⑨-4
	21～22	雫石郷土芸能伝承活動細川会が、9月21～22日に東京都品川区で行われた「令和8年度民謡民舞少年少女全国大会（公益財団法人日本民謡協会主催）」に出場し、演目「チャグチャグ馬コ」で見事優勝。本県では、2002年に同会が優勝して以来、24年ぶり2回目の快挙。	⑨-5

月	日	内容	応募番号
10	3～4	トランポリンワールドカップイタリア大会でエムズスポーツクラブ雫石教室所属の山田大翔選手がトランポリン競技シンクロナイズドで5位入賞を収める。	⑩-1
	4	盛岡中津川ライオンズクラブが生森山でベンチの修復や塗装作業を実施。毎年1基ずつベンチを修復している。	⑩-2
	5	包括連携協定を結んでいる明治安田生命保険相互会社（有賀義照盛岡支社長）から、「私の地元応援募金」として45万9千円が寄付された。	⑩-3
	15	昭栄建設㈱（武田克彦代表取締役社長）より、有害鳥獣捕獲機材を寄贈される。同社からの有害鳥獣対策に対する寄付は2022年から引き続き5年目となる。	⑩-4
	17～18	町総合運動公園を会場に「2026しずくいし産業まつり」（同実行委員会主催）が開催。恒例の「小岩井牛乳」の無料配布やプロレスラー新崎人生氏による「じんせい体操」などのイベントが行われ、会場は多くの来場者でにぎわった。	⑩-5
	25	雫石町長選挙及び町議会議員補欠選挙が行われ、町長選挙では新人のハクセル美穂子氏が選挙戦を制し、町議会議員補欠選挙では無投票で佐藤衛二氏、目移杉蔵氏が当選を果たす。	⑩-6

月	日	内容	応募番号
11	6	「第73回雫石町小・中学校音楽会」が開催。町内の小学校5校と中学校の生徒たちが、これまでの練習の成果を、合唱や演奏を通して堂々と披露し、会場の観客を魅了した。	⑪-1
	8	御所広域公園乗り物広場のローラー滑り台が約40年の歴史に幕を下ろす。2027年の春にリニューアル予定。	⑪-2
	10	ハクセル美穂子氏が町長に就任。岩手県初の女性首長が誕生。	⑪-3
	10	雫石小学校でふれあい学校給食会を実施。日頃お世話になっている生産者や行政・学校教育関係者を各校に招待し、児童生徒らと給食を楽しんだ。	⑪-4
	16	町内小学５年生の児童を対象に「いのちの授業」を開催。未来の風せいわ病院理事長・病院長智田文徳氏を講師にストレスとの向き合い方やストレスを抱えている人への関わり方を学ぶ。	⑪-5
その他		「令和7年度一般財団法人雫石町スポーツ協会表彰式・記念講演会」が開催。 2024年11月1日から2025年10月31 日までに各種競技大会などで優秀な成績を収めた個人21人と6団体に栄光賞、優秀賞、会長賞が贈られる。	他-1
		町の教育・文化・スポーツの発展に著しく寄与した個人や団体に対して雫石町教育委員会表彰が行われた。	他-2